

名橋たちの音を聴く

2015/05/30 キャスト・プロフィール

山本徹 (チェロ)



茨城県日立市出身。ひたちジュニア弦楽合奏団にてチェロを始める。東京藝術大学、同大学院古楽専攻、チューリヒ芸術大学修了。チェロを土肥敬、河野文昭、北本秀樹、鈴木秀美、ルール＝ティールティーンズの各氏に師事。また東京藝術大学パッハカンタータクラブにて小林道夫氏の指導のもと研鑽を積む。2006年第20回国際古楽コンクール<山梨>第2位、2008年第16回ライブツィヒ国際パッハ・コンクール第2位、2011年ブルージュ国際古楽コンクール審査員賞、及びパッハ・コンクール第2位、2011年ブルージュ国際古楽コンクール審査員賞、及びパッハ・ヴァッセナール国際コンクール優勝、2010年度文化庁新進芸術家海外研修員、2011年度ロームミュージックファンデーション奨学生、パッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ等国内外のオリジナル楽器オーケストラのメンバーとして定期公演・録音・海外ツアーに多数参加。

辻康介 (声楽家)



1600年頃のイタリア音楽を中心に 様々なジャンルの音楽を歌い、イタリア語歌を独自訳の日本語でも歌う。主宰する三つのユニット「ビスメロVisMelodica」「ネーモー・コンチェルタートnemo concertato」「南蛮ムジカ」での活動を中心に、「ジャングルルール・ボン・ミュージシャン」などで歌う。「辻康介の体感音楽史：中世の移動ド」講座 には数多くの受講生が集まっている。声楽を牧野正人、クラウディオ・カヴィーナらに師事。国際ロータリー財団奨学金でイタリアに留学、声楽の他にも古楽の理論的基礎を学んだ。国立音楽大学楽理科卒。



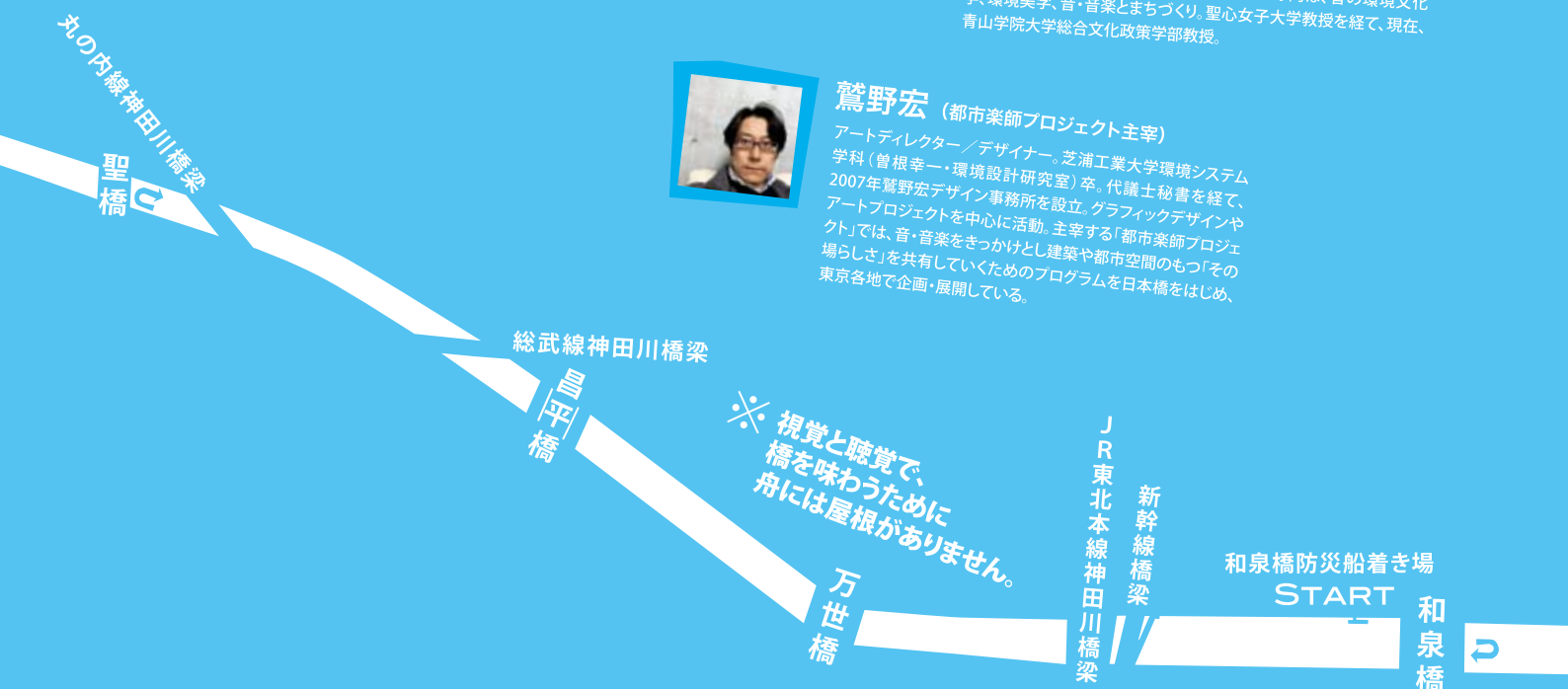
鳥越けい子 (青山学院大学教授/芸術文化学博士)

日本各地の音文化の調査研究をおこないつつ、「サウンドスケープ(音の風景)」から「形あるもの・見えるモノを超えた環境」をテーマに、生活文化の継承や伝統文化の新たな活用を視座に入れたまちづくり、環境をめぐるデザインから保全に至る各種のプロジェクト、都市をフィールドにしたワークショップを展開している。専門は、音の環境文化学、環境美学、音・音楽とまちづくり。聖心女子大学教授を経て、現在、青山学院大学総合文化政策学部教授。

鷲野宏 (都市楽師プロジェクト主宰)



アートディレクター/デザイナー。芝浦工業大学環境システム学科(曾根幸一・環境設計研究室)卒。代議士秘書を経て、2007年鷲野宏デザイン事務所を設立。グラフィックデザインやアートプロジェクトを中心に活動。主宰する「都市楽師プロジェクト」では、音・音楽をきっかけとし建築や都市空間のもつ「その場らしさ」を共有していくためのプログラムを日本橋をはじめ、東京各地で企画・展開している。



江戸時代、天下普請で台地を掘削して誕生した人工の流れである神田川。

この流れをめぐる「船上の音遊び」の乗船者たちは、船という普段とは異なる視点と音・音楽の刺激を通じて、都市が成長するときの躍動感を、より繊細に、より鮮やかに体感することになるでしょう。

ぜひ、非日常の「船上の音遊び」をご体験ください。

詳細・お申込は Web で

<http://toshigakushi.com>

お問合せ先/ウェブ以外でのお申込先 ▶ 都市楽師プロジェクト ✉ info@toshigakushi.com ▶ 鷲野宏デザイン事務所 ☎ 050-3736-1404 FAX 050-3737-1045
ウェブ以外のお申込は、メール、お電話で承ります。お申込の際は、次の情報をお伝え下さい。① ご乗船日時 ② お席数 ③ お名前 ④ 郵便番号とご住所 ⑤ お電話番号